

東京都小中学校環境教育研究会会報

東京の青い空

第57号

会長 棚橋 乾 多摩市立多摩第一小学校 TEL 042-375-7020

事務局長 阿閉 暢子 多摩市立連光寺小学校 TEL 042-373-1920

HP <http://kankyokyoiku.jp>

環境教育 ESD の歩み

会長 棚橋 乾

昨年、本研究会は50周年の節目を迎えました。今年から気持ち新たに次の50年に向けて、環境教育の研究や普及活動を充実させたいと思います。

さて、これまでの研究会の研究目標は、体験を重視し、豊かな感性と人間性の育成を目指す時期が長くありました。現在は ESD を踏まえて「持続可能な社会づくりと環境教育」サブテーマを「環境教育で育む学力と環境保全意欲」としています。

持続可能な社会づくりというテーマは、現在の温暖化などの環境問題を考えると、様々な人間活動の最優先に位置付けられるべき課題となっています。教育にとっても同じことです。ESD は環境、社会、経済への取り組みを持続可能な社会をつくる柱としています。また、政治（政策）の影響が指摘され、全体を包含する文化の重要性も高まっています。バランスを取りながら社会全体として持続可能な社会づくりを目指すことが求められているわけですが、ご存知の通り現実はなかなか思うように進展していません。

東日本大震災直後に日本全体で節電に取り組みました。明るすぎない照明や涼しすぎない空調など、必要な場合や程度を選んで電気を使うという知恵を働かせていたことに希望を持ちました。それが今はどうでしょうか。過ぎたるエネルギー消費によって心を満たしている

かのような。学校で「やればできる」と子ども達を励ますことはありませんか。当時の節電は、「やっていた」のですが継続できませんでした。あくまでも震災直後の対応に留まってしまったのです。社会全体で「持続可能な社会づくり」への価値共有が浸透できていなかったと感じます。しかし、「やればできる」ことが分かりました。価値を共有して変革を実現することで、持続可能な社会をつくる一歩を踏み出すことができるのです。そのためには必要なことの 하나가教育です。

環境教育 ESD には教育を変革する力、パラダイム変換を図る力があります。小学校から大学までの教育機関のどこでも、環境教育を指導し、ESD の概念に基づいて持続可能な社会づくりの価値を育成すること、学習者が主体となった学びを中心に汎用的学力の育成を図ることが必要です。このことの継続によって変革への貢献を果たすことこそ、21世紀型教育の歩むべき方向だと思います。私たち教員は、研修や学校間の連携を充実させて指導を工夫しましょう。次期学習指導要領の編成が進み、アクティブラーニングが注目されています。児童・生徒主体の学びを実践して個々の成長を図ることと共に、持続可能な社会づくりを目標にした編成になることを期待したいと思いますが、自己変革はいつでもできるのです。

平成27年度東京都小中学校環境教育研究会総会報告

平成27年6月15日(月)、新宿区立鶴巻小学校において東京都小中学校環境教育研究会総会を開催しました。議事として、平成26年度事業報告、決算報告、会計監査報告、新役員承認、平成27年度事業計画案、予算案、研究計画案について審議し承認されました。また、総会後は聖心女子大学 教育学博士 永田 佳之 先生より「世界大会後のESDの動向と環境問題について」と題してご講演をいただきました。

◆平成26年度事業報告

- 1 平成26年度総会 6月17日(火)
新宿区立鶴巻小学校
- 2 研究部の活動の充実
 - ・夏季研修会 8月1日
杉並区立桃井第二小学校
 - ・授業研究(板橋区立板橋第二小学校)
 - ・現地研修会 自然観察会…中止
野鳥観察会…日比谷公園
- 3 全国小中学校環境教育研究会との連携
 - (1) 第46回全国小中学校環境教育研究大会参加 平成26年11月21日(金)
神奈川県横浜市立永田台小学校
校長:住田 昌治
 - (2) エネルギー研修会 施設見学会
平成26年7月24日(木)
東京ガス 扇島工場・ガスの科学館
- 4 第50回東京都小中学校環境教育研究会
発表会 平成27年1月30日(金)
板橋区立板橋第二小学校
校長:長沼 和人

5 研究集録第25集の発行

6 機関誌「東京の青い空」

No.55号～No.56号発行

◆平成26年度決算報告

1. 収入

項目	予算額	決算額	適用
分担金	890,000	870,100	
繰越金	146,972	146,972	
利子	0	70	
計	1,149,937	1,140,009	

2. 支出

項目	予算額	決算額	増減
総会費	10,000	10,000	0
会議費	30,000	17,020	12,980
事務費	15,000	13,228	1,772
研究費	350,000	253,071	96,929
講演費	90,000	60,000	30,000
見学費	30,000	12,185	17,815
印刷代	100,000	84,510	15,490
通信費	30,000	28,099	1,901
全国大会	300,000	300,000	0
発表会	80,000	80,000	0
予備費	1,972	0	0
計	1,036,972	858,113	178,859

3. 会計監査報告

上記の決算について監査により相違ないことを認めます。

平成27年3月31日

会計監査

江戸川区立教育センター 末吉 順一
中央区立月島第二小学校 杉本 茂雄

◆平成27年度事業計画

1. 平成27年度総会 6月15日(月)
於：新宿区立鶴巻小学校
2. 研究部の活動の充実
 - ・夏季研修会 ・授業実践と事例報告
 - ・現地研修(自然観察、野鳥観察等)
3. 全国小中学校環境教育研究会と連携した実践的研究の推進
 - (1) 第47回全国小中学校環境教育研究大会
平成27年11月20日(金)
東京都多摩市立多摩第一小学校
(校長 棚橋 乾)
《第51回東京都小中学校環境教育研究会
発表会と合同開催》
 - (2) エネルギー研修会 施設見学会
平成27年7月24日(金)
東京ガス扇島工場・ガスの科学館
4. 研究集録第26集の発行
5. 機関誌「東京の青い空」No.57～No.58 発行
6. 東京都教育委員会「くらしと環境 Web」
啓発資料作成委員予定

◆平成26年度予算

1. 収入

項目	予算額	適用
分担金	870,000	分担金1校 1,000円
繰越金	159,029	平成26年度繰越金
利息	0	
計	1,029,029	

2. 支出

項目	予算額	適用
総会費	10,000	総会要項印刷等

会議費	30,000	定例役員会 研究部会 研究員発表会費
事務費	15,000	事務経費
研究費	280,000	集録作成 研究資料費 日本環境教育学会会費
講演費	90,000	講師謝礼
見学費	40,000	研修会見学費 交通費補助
印刷代	90,000	「東京の青い空」No.57～58
通信費	40,000	通信 送料等
全国大会	350,000	全国大会紀要作成補助 運営補助等
発表会	80,000	都発表会運営費
予備費	4,029	
計	1,029,029	

◆平成27年度役員

役職	氏名	学校名	役職
顧問	竹田雄二郎	青梅市立新町小	校長
会長	棚橋 乾	多摩市立多摩第一小	校長
副会長	國分重隆	新宿区立鶴巻小	校長
	邊見公子	杉並区立桃井第二小	校長
事務局長	阿閉暢子	多摩市立連光寺小	校長
事務局次長	野澤由美	府中市立武蔵台小	校長
	鱒坂映子	町田市立南第二小	副長
	山口京子	杉並区立沓掛小	副長
	福井みどり	新宿区立戸山小	副長
研究広報	石田好広	足立区立鹿浜第一小	校長
研究・広報部副部長	宮原 元	品川区立浜川小	副長
	石塚裕幸	足立区千住本町小	副長
	關口寿也	多摩市立大松台小	副長
会計部長	佐々木智津子	中野区立中野本郷小	副長
会計副部長	深津郁子	江戸川区立平井東小	校長
会計監査	根本美恵子	国分寺市科学センター	非常勤
	杉本茂雄	中央区立月島第二小	非常勤

H27地区理事名簿

区市	小学校		中学校	
千代田区	和泉小	中村裕子	神田一橋中	太田耕司
中央区			日本橋中	平松功治
港区				
新宿区	愛日小	岡本由美	新宿養護学校	寺島京子
文京区				
台東区	東浅草小	石井二郎		
墨田区	押上小	和田真樹子		
江東区	八名川小	野尻紀美恵		
品川区				
目黒区	中根小	佐々木直子		
大田区			六郷中	竹内彰泰
世田谷区	希望丘小	高藤浩	桜丘中	西郷孝彦
渋谷区	千駄谷小	長田真理子		
中野区	白桜小	田中憲治		
杉並区	松庵小	佐々木恵子		
豊島区	長崎小	伊藤弘志		
北区			王子桜中	富張雄彦
荒川区				
板橋区	加賀小	杉田彩子	高島第一中	岡村克也
練馬区				
足立区	鹿浜第一小	石田好広	加賀中	遠藤映悟
葛飾区	細田小	伊藤進	青戸中	岩崎明彦
江戸川区	下鎌田小	河合宏和	鹿骨中	牧野英一
八王子市	船田小	澤田純二		
立川市	柏木小	吉岡正司	第五中	小沼孝行
武蔵野市				
三鷹市				
青梅市	第7小	中嶋太		
府中市	府中第7小	忍足瑠理子		
昭島市	つつじが丘南小	石川博朗		
調布市			第四中	藤倉正道
町田市	山崎小	伊藤昌克		
小金井市	前原小	浦川 潔		
小平市				
日野市				
東村山市	八坂小	常岡 誠	東村山第二中	松本康夫
国分寺市	第八小	伊藤徳平		
国立市				
福生市				
狛江市	狛江第六小	川崎貴志	狛江第二中	渡辺暁
東大和市	第八小	伊藤誠治		
清瀬市	清瀬第八小	西脇裕高		
東久留米市	第九小	岩本義廣		
武蔵村山市				
多摩市	連光寺小	阿閉暢子		
稲城市			稲城第三中	橘太造
羽村市	羽村東小	渡邊慎吾		
あきる野市	五日市小	中島靖二		
西東京市	柳沢小	横山常雄		
瑞穂町				
奥多摩町	古里小	花輪潤一		
大島	つばき小	立木 功		
利島				
新島				
神津島				
三宅島				
御蔵島				
八丈島				
青ヶ島				
小笠原村				

全国環境教育研究会エネルギー研修会

東京ガス 扇島工場・ガスの科学館の見学報告

東京都多摩市立大松台小学校 関口寿也

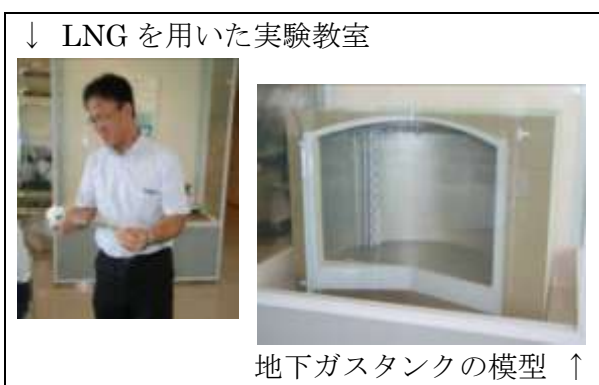
今年度も東京ガス株式会社様のご協力により、全国環境教育研究会主催のエネルギー研修会を夏季休業中に実施した。見学先は、首都圏の都市ガスのエネルギーセンターとして中核を担っているとともに、ガスタービンによる火力発電も稼働させている「東京ガス 扇島工場」と、「ガスの科学館（がすてなーに）」である。

実施日時 平成27年7月24日（金） 9:20～17:00

集合場所 JR川崎駅東口

参加人数 24名

(1) 東京ガス 扇島工場 <神奈川県横浜市>



扇島工場は、根岸工場・袖ヶ浦工場に次ぐ第三のLNG（液化天然ガス）基地として建設された。首都高湾岸線のつばさ橋のたもとにあり、首都圏の都市ガスのエネルギーセンターとしての中核を担うだけでなく、敷地内に「扇島パワーステーション」を有し、天然ガスを燃料とするガスタービンコンバインドサイクルによる天然ガス火力発電所も稼働している。天然ガス施設の構内見学とともに「扇島パワーステーション」の母屋にも入り、関係者でないと見ることのできない施設を

じっくりと説明を受けながら見学することができた。発電所は、1,2号機合計で814,200kwの発電量を誇り、3号機の完成が間近である。発電により生じる廃熱を、さらに蒸気タービンに戻す効率的な複合発電システムである。最終的に排出される温排水は、環境基準を遵守して横浜湾に戻されている。東京ガスは発電事業にも力を入れており、2020年度までに国内で300万~500万kwの目標を掲げている。火力発電所の設備は大変コンパクトであり、また、排気にも考慮されたクリーンな施設であったことが驚きであった。集中制御室のコントロールにより24時間体制で発電を行っており、従事されている方はわずかの人数であったことも印象的であった。

施設見学のほかに、LNGを用いた実験も行った。バラの花やボールを凍らせて割ることや、金属球を冷やして体積の変化を確かめる実験も行った。

エネルギー源としてのLNGを強く意識できた見学会であった。

(2) ガスの科学館（がすてなーに） <東京都江東区>

学校団体などが見学しながら課題解決的に学ぶように、7つのゾーンに分かれて展示ブースが設けられている。

二酸化炭素を普段の生活でどれだけ排出しているか具体例を元にグラム数を表示していたり、どのような発電を組み合わせれば効率がよいのかなど、考えながら自分たちの生活を振り返ることができるようになっている。

参加者たちも熱心にゾーンを巡ってエネルギーの有効利用について考えることができた。

第47回全国小中学校環境教育研究大会（東京大会）

全国小中学校環境教育研究会では、標記の大会を開催いたします。ぜひご参加ください。

21世紀「環境の世紀」の提言

《研究主題》

持続可能な社会づくりのための環境教育の推進

～ 環境教育によって育む学力と環境保全意欲 ～

- 1 日時 平成27年 11月20日（金） 9時00分～16時30分
- 2 会場 東京都多摩市立多摩第一小学校（校長 棚橋 乾）
〒206-0011 東京都多摩市関戸3-2-23
多摩第一小学校 HP <http://schit.net/tama/estamadaichi/>
- 3 主催 全国小中学校環境教育研究会 東京都小中学校環境教育研究会
（全国小中学校環境教育研究会ホームページ <http://kankyokyoiku.jp>）
- 4 後援 文部科学省 環境省 東京都教育委員会 多摩市教育委員会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 東京都公立小学校長会
東京都公立中学校長会 多摩市立小学校長会 多摩市立中学校長会
日本環境教育学会 日本教育公務員弘済会東京支部

5 時程

9:00 30 10:15 30 11:20 30 12:30 13:50 14:50 15:00 16:20 30

受付	公開授業	移動	開会式	基調発表	昼食	研究発表 指導講評	講演①	休憩	講演② ワークショップ	閉会式
----	------	----	-----	------	----	--------------	-----	----	----------------	-----

6 公開授業（9:30～10:15）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
生活科	生活科	総合	総合	総合	総合
どうぶつとなかよし ～ヤギとしょうどうぶつ～	多摩川たんけん ～多摩川の宝ものを みつけたよ！～	われら多摩っ子 ～私たちの町じまん マップをつくろう～	わたしたちの多摩川 ～多摩川あれこれ大発見～	環境について考えよう ～私たちのエコ～	エネルギー 発電に ついて考えよう ～スウェーデンとの 交流を通して～

7 講演① テーマ 「地球温暖化の現状」

講師 国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員 横 畠 佳 之 氏

講演② ワークショップ 「新たな時代のESD：ホールスクール・アプローチとその課題」

講師 聖心女子大学教授 教育学博士 永 田 佳 之 氏

- 8 参加申込 全国小中学校環境教育研究会のホームページに掲載しております第47回全国小中学校環境教育研究大会（東京大会）第二次案内のPDFをご覧ください。